

平成25年度市町村普通会計決算の概要

資料提供 平成26年10月31日
企画振興部 市町村課 財政班 本田、佐藤
電話 018(860)1147・1148

1 決算規模

- 平成25年度の市町村普通会計の決算は、歳入、歳出とも前年度決算額を上回った。
- 歳入総額は、5,732億2,647万円(うち東日本大震災分は、45億3,575万円)で、前年度を137億3,928万円上回った。
- 歳出総額は、5,570億9,521万円(うち東日本大震災分は、44億9,006万円)で、前年度を131億8,272万円上回った。

※東日本大震災分は、東日本大震災に係る復旧・復興事業及び全国防災事業に係る決算額

区分	平成25年度	平成24年度	増減額	増減率
歳入総額	5,732億2,647万円	5,594億8,719万円	137億3,928万円	2.5%
歳出総額	5,570億9,521万円	5,439億1,249万円	131億8,272万円	2.4%

※端数処理により、合計、内訳、率が一致しないことがある。

(参考) 決算額の推移

(単位：億円、%)

年度	歳入	増減率	歳出	増減率
平成25年度	5,732	2.5	5,571	2.4
24年度	5,595	△ 1.5	5,439	△ 1.4
23年度	5,682	0.6	5,515	0.7
22年度	5,647	2.5	5,477	2.3
21年度	5,508	7.7	5,354	7.7
20年度	5,113	△ 0.8	4,973	△ 1.3

2 決算収支の状況

(1) 実質収支

実質収支(歳入歳出差引額から繰越事業等の財源として翌年度に繰り越すべき財源を控除した額)は、135億円の黒字となり、前年度と比較して2億円増加した。実質収支は、昭和62年度決算から27年連続で全市町村で黒字となっている。

(2) 単年度収支

単年度収支(実質収支から前年度の実質収支を引いた額)は、2億円の黒字となり、前年度と比較して8億円増加した。また、単年度収支が赤字の団体は11団体で、前年度と比較して1団体減少した。

(3) 実質単年度収支

実質単年度収支(単年度収支に、財政調整基金への積立額及び地方債の繰上償還額を加え、財政調整基金の取崩額を引いた額)は、88億円の黒字となり、前年度と比較して10億円減少した。また、実質単年度収支が赤字の団体は6団体で、前年度と比較して1団体増加した。

3 歳入の状況

○地方税が増加したものの、地方交付税及び地方譲与税等が減少したことから、一般財源は前年度と比較して0.5%減少した。そのため、歳入に占める一般財源の割合は59.2%となり、前年度と比較して1.7ポイント減少した。

○一方、国庫支出金は16.4%、県支出金は8.8%、地方債は3.2%、繰入金は2.1%増加した。

○これらにより、歳入総額は前年度と比較して2.5%増加した。

(単位：百万円、%)

【参考】

区分	25年度決算額	構成比	24年度決算額	増減率	増減率23→24
一般財源					
地方税	112,598	19.6	111,009	1.4	△0.8
地方交付税	208,256	36.3	211,175	△1.4	1.3
地方譲与税等	18,507	3.2	18,738	△1.2	△5.2
小計	339,361	59.2	340,923	△0.5	0.2
国庫支出金	74,397	13.0	63,941	16.4	△9.4
県支出金	37,423	6.5	34,391	8.8	△8.8
繰入金	11,923	2.1	11,682	2.1	66.1
地方債	58,018	10.1	56,217	3.2	△7.7
その他	52,105	9.1	52,334	△0.4	1.1
合計	573,226	100.0	559,487	2.5	△1.5

※地方譲与税等には、地方特例交付金及び各種交付金を含む。また、端数処理により、合計、内訳、率が一致しないことがある。

(1) 地方税

地方税は、景気回復等に伴う市町村民税の増加及び県たばこ税の一部が市町村たばこ税に移譲されたこと等により、1.4%増加した。

(2) 地方交付税

地域の元気づくり推進費の創設等に伴い基準財政需要額は僅かに増加したが、市町村たばこ税等の増加に伴い基準財政収入額が増加したため、普通交付税は1.0%減少した。これらにより、地方交付税は1.4%減少した。

(3) 地方譲与税等

地方譲与税等は、エコカー減税の拡充・適用期限延長に伴う自動車重量譲与税の減少等により、1.2%減少した。

(4) 国庫支出金

国庫支出金は、地域の元気臨時交付金の創設等により、16.4%増加した。

(5) 県支出金

県支出金は、農林水産業に係る普通建設事業費の増加等により、8.8%増加した。

(6) 繰入金

繰入金は、繰上償還に伴う減債基金等からの繰入金が増加したこと等により、2.1%増加した。

(7) 地方債

地方債は、公共事業等債、合併特例事業債等が増加したこと等により、3.2%増加した。

4 歳出の状況

- 義務的経費は、扶助費が増加したが、人件費及び公債費が減少したため、前年度と比較して1.3%減少、歳出に占める割合は前年度と比べ1.7ポイント減少した。
- 投資的経費は、普通建設事業費の増加により、前年度と比較して16.3%増加した。
- その他の経費は、積立金等の増加により、前年度と比較して1.9%増加した。
- これらにより、歳出総額は前年度と比較して2.4%増加した。

(単位：百万円、%) 【参考】

区 分	25年度決算額	構成比	24年度決算額	増減率	増減率23→24
義務的経費	242,543	43.5	245,812	△1.3	△1.1
人件費	87,872	15.8	91,782	△4.3	△1.4
扶助費	85,552	15.4	84,318	1.5	1.2
公債費	69,119	12.4	69,713	△0.9	△3.3
投資的経費	86,805	15.6	74,632	16.3	△12.2
うち普通建設事業費	83,209	14.9	71,180	16.9	△13.3
うち補助事業費	44,072	7.9	35,830	23.0	△8.9
うち単独事業費	37,393	6.7	33,999	10.0	△17.6
その他の経費	227,747	40.9	223,468	1.9	2.5
うち物件費等	75,998	13.6	78,873	△3.6	2.4
うち補助費等	54,898	9.9	52,805	4.0	1.4
うち繰出金	55,762	10.0	54,804	1.7	△2.8
うち積立金	25,649	4.6	20,968	22.3	23.1
合 計	557,095	100.0	543,912	2.4	△1.4

※端数処理により、合計、内訳、率が一致しないことがある。

※物件費等は、物件費及び維持補修費の計。

(1) 人件費

人件費は、職員数の減少、国の給与削減要請等に伴い職員給が減少したこと、退職者数の減少等に伴い退職金が減少したこと等により、4.3%減少した。

(2) 扶助費

扶助費は、児童手当給付費が減少したこと等に伴い、児童福祉費が0.1%減少したものの、障害者自立支援給付費の増加等に伴い、社会福祉費が5.9%増加したこと等により、1.5%増加した。

(3) 公債費

公債費は、合併特例事業債等の元利償還金が増加したものの、地域総合整備事業債、公共事業等債等の元利償還金が減少したこと等により、0.9%減少した。

(4) 普通建設事業費

普通建設事業費は、16.9%増加した。このうち、補助事業費は、市街地再開発事業費（大仙市）の増加等により23.0%増加し、単独事業費は、庁舎建設事業費（湯沢市）の増加等により10.0%増加した。

(5) その他の経費

- ・物件費等は、除排雪に係る経費が減少したこと等により、3.6%減少した。
- ・積立金は、特定目的基金への積立ての増加により、22.3%増加した。

5 主な財政指標等

(1) 経常収支比率

財政構造の弾力性を示す経常収支比率（経常的経費に充当された一般財源の経常一般財源総額に対する割合）は85.4%で、前年度と比較して0.5ポイント減少した。

※ 最高値：93.7%（男鹿市） 最低値：76.2%（井川町）

前年度対比で上昇した団体：7団体

(2) 実質公債費比率

健全化判断比率のひとつである実質公債費比率（公債費と公営企業の元利償還金に充てた繰出金等の額の標準財政規模に対する割合の3か年平均）は11.3%で、前年度と比較して1.1ポイント改善した。

また、地方債の許可団体となる18%以上の団体は、前年度と比較して1団体減少し、該当なしとなった。

※ 最高値：17.6%（大仙市） 最低値：5.3%（大潟村）

前年度対比で上昇した団体：1団体

(3) 地方債現在高

平成25年度末の地方債現在高は6,028億円で、前年度末現在高6,059億円より31億円（前年度対比△0.5%）減少した。

臨時財政対策債分を除いた場合の平成25年度末の地方債現在高は3,994億円で、前年度末残高4,140億円より146億円（前年度対比△3.5%）減少した。

(4) 積立基金の状況

平成25年度末の積立基金現在高は1,509億円で、前年度末現在高1,359億円より150億円（前年度対比+11.0%）増加した。

増加額の内訳は、財政調整基金48億円（同+8.0%）、減債基金34億円（同+20.0%）、その他特定目的基金68億円（同+11.5%）である。